

総務民生常任委員会報告

11月9日 開催

委員長 岡本 ひとし

総務民生常任委員会に付託された「切れ間のない移動手段の早急な確保を求める請願について」を議題とし、委員会を開催し内容を審議しました。

令和3年9月27日受付、請願者は森田洋子氏をはじめ289名から提出されました。紹介議員は、中植昭彦・井上加奈子・中西颯治・難波希美子・奥久明の5名です。

請願者代表への意見聴取の後、路線バスの減便によりどのような影響があるのか、地域公共交通会議の進捗よく状況、実証実験が始まるまでの移動困難者への移動手段の確保などの審議を行い、討論の後、賛成多数により、採択すべきものと決定しました。

◇ 切れ間のない移動手段の早急な確保を求める請願について

賛	否					採択
井上加奈子	大西 則宏	中西 颯治	中植 昭彦	西河 巧	岡本ひとし	
○	×	○	○	○	委員長	

注:委員長は採決に加わりません。

【反対討論】大西 則宏

請願権は日本国憲法第16条で保障された国民の基本的権利であり、「願意が妥当であるか・実現の可能性があるか・当該自治体及び議会の権限に属する事項であるか」が採択判断基準とされている。

本請願事項のうち『新交通システム構築について説明会・意見聴取会の実施』については、町が実施するとして既決事項であり、採択の判断基準に当てはまらなないと考える。また、法的規定はないにしろ、質疑により紹介議員における確認義務が果たされていないとも考える。

以上により、残念ながら本請願については不採択にするほかない、と判断する。

【賛成討論】中西 颯治

地域公共交通会議で本町の地域交通についてアンケートも実施され、様々な検討がなされているが、その調査時期はバス減便が知られる前であった。その事態を考慮に入れ説明会を充実したものにすべきだと考える。

地域公共交通会議の議論の中でも住民からの意見聴取会の開催について委員からも提案され、区長会での説明会等行われているが、利用者への説明、意見聴取の予定は示されていない。

よって、この住民請願が求める補完交通の確保と説明、意見聴取について誠実に対応を求め、本請願に賛成する。

【賛成討論】中植 昭彦

移動手段の確保は能勢町の最重点課題の一つである。

今回移動手段について生活に重大な影響が出ているとして唯一の直接請求である請願書が提出された。

議会は289名の直接請求の意味をしっかりと受け止め、町に対して請願事項の実現、そして全町においての交通問題の解決を求めるとともに、議会も共に取り組んでいく決意表明という意味でもしっかりと採択すべきである。

令和3年能勢町議会10月会議報告

10月14日・18日 開催

10月会議には、補正予算1件が提出され、全員賛成で可決されました。

◇ 令和3年度能勢町一般会計補正予算(第5号)

補正額 2,585万円

(主なもの)

・高齢者のインフルエンザ予防接種無償化	678万円
・新型コロナウイルス感染症対策環境整備支援事業	986万円
・3年林道災害復旧事業	920万円